



## 第2回目 勤務助産師部会主催「わいわいカフェ」

日時: 令和3年4月10日10時半～11時    テーマ: 「新人を育てるにあたって、大事にしていること」

### 《当日のプログラム》

1. 開会
2. 話題提供  
「教育現場の立場から」  
「臨床現場の立場から」
3. フリーディスカッション
4. 兵庫県助産師会の活動報告
5. 閉会

### 「臨床現場の立場から大事にしていること」

- ・助産師で良かったと思えるようにサポート
- ・新人のこれまでに学んできた経緯や背景を踏まえてサポート
- ・教育体制(新人教育計画・精神的なサポートをするお姉さん役: シスプラ・トライする研修・経験できるローテーション制)
- ・新人というダイヤモンドの原石を磨くような関わり
- ・心に残る良い経験
- ・成長し続ける助産師であるようにサポート
- ・守り過ぎず、経験できるようにサポート

### 《兵庫県助産師会の活動》

- ・妊娠SOS活動について
- ・産前産後ケアについて
- ・研修会について
- ・近畿地区研修会について



### 「教育現場の立場から大事にしていること」

- ① 助産師のアイデンティティを育てる
  - ・どんな助産師になりたいか？だから何を大事にするのか？
- ② 知識と技能を習得する
  - ・目の前の現象をエビデンスを踏まえて考える
  - ・何度も振り返り、気づきや考える作業を行う
- ③ 学生の個性に合った場所に就職する
 

対象となるお母さんの出産、人生から学ばせて頂いた経験をこれからの助産師人生に長く活かして欲しい

### 《フリーディスカッション》

- ・教育と臨床の場での到達目標のギャップは、どこからきているのか？
- ・日常生活での経験が少ない  
(例えば、1人暮らしで初めて家事を経験したなど)
- ・日本の助産師を育てているという認識を持ちたい
- ・コミュニケーション力の育み方とは？
- ・自分ではなく、対象に視点が向いているかが大切。それがケアに生きてくる。
- ・共に学び、成長するという思い。相手を信じることの大切さ
- ・自ら学びたい、調べたいと思えるような働きかけ → 内発的動機づけ
- ・助産を意図的に語ること



務局



Masayo Takada



寺嶋智穂



打越リカ



新名美佳



kumiko abe